【２０２３年１２月号】

医　薬　品　情　報

２０２３年１１月２２日発行

１．採用医薬品＜11 月薬事委員会における採用＞

2023 年 11 月 29 日（水）より処方して下さい。

①　コレチメント錠 9mg【用時購入】 ---------- １
②　③タケキャブ OD 錠 10mg・20mg ---------- ２
④　レバミピド懸濁性点眼液２％「参天」【院外のみ】---------- ４

２．採用取り消し医薬品－ ---------- ５

３．限定採用薬に関する医薬品情報の提供---------- ５

４．採用医薬品の見直し ---------- ９

５．医薬品添付文書の改訂（2023 年 11 月，DSU No.321） ---------- １１

６．医薬品・医療機器等安全性情報（2023 年 11 月，No.405） ---------- １３

７．使用期限間近の医薬品リスト ---------- １４

８．医薬品情報　高リン血症治療薬について---------- １６

問い合わせ先：独立行政法人地域医療機能推進機構　九州病院

薬剤部 医薬品情報管理室 内線２７２５

潰瘍性大腸炎治療剤

コレチメント錠 9mg

CORTIMENT Tablets 9mg

（持田製薬）

薬価収載日	2023年8月30日
薬　　価	607.80円

一　般　名　　ブデソニド

効能・効果　　活動期潰瘍性大腸炎（重症を除く）

＜効能又は効果に関連する注意＞

「17. 臨床成績」の項の内容を熟知し、メサラジン 3,600mg を対照とした国内臨床試験で非劣性が検証されていないことを十分に理解した上で、本剤投与の適否を判断すること。

用法・用量　　通常、成人にはブデソニドとして 9mg を 1 日 1 回朝経口投与する。

＜用法及び用量に関連する注意＞

本剤投与中は患者の病態を十分観察し、投与開始 8 週間を目安に本剤の必要性を検討し、漫然と投与を継続しないこと。

禁　忌　　（次の患者には投与しないこと）

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. デスモプレシン酢酸塩水和物（男性における夜間多尿による夜間頻尿）を投与中の患者

カリウムイオン競合型アシッドブロッカー
ープロトンポンプインヒビターー

タケキャブ OD 錠 10mg／20mg

Takecab OD Tablets 10mg/ 20mg
（武田薬品工業）

薬価収載日	2023年5月24日
薬　　価	10mg：100.50円 20mg：150.50円

一　般　名　　ボノプラザンフマル酸塩口腔内崩壊錠

効能・効果　○胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制

○下記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助
胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎

＜効能又は効果に関連する注意＞

〈低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制〉

1. 血栓・塞栓の形成抑制のために低用量のアスピリンを継続投与している患者を投与対象とし、投与開始に際しては、胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の既往を確認すること。

〈非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制〉

2. 関節リウマチ、変形性関節症等における疼痛管理等のために非ステロイド性抗炎症薬を長期継続投与している患者を投与対象とし、投与開始に際しては、胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の既往を確認すること。

〈ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助〉

3. 進行期胃 MALT リンパ腫に対するヘリコバクター・ピロリ除菌治療の有効性は確立していない。
4. 特発性血小板減少性紫斑病に対しては、ガイドライン等を参照し、ヘリコバクター・ピロリ除菌治療が適切と判断される症例にのみ除菌治療を行うこと。
5. 早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃以外には、ヘリコバクター・ピロリ除菌治療による胃癌の発症抑制に対する有効性は確立していない。
6. ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎に用いる際には、ヘリコバクター・ピロリが陽性であること及び内視鏡検査によりヘリコバクター・ピロリ感染胃炎であることを確認すること。

用法・用量　〈胃潰瘍、十二指腸潰瘍〉

通常、成人にはボノプラザンとして 1 回 20mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍では 8 週間まで、十二指腸潰瘍では 6 週間までの投与とする。

〈逆流性食道炎〉

通常、成人にはボノプラザンとして 1 回 20mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、通常 4 週間までの投与とし、効果不十分の場合は 8 週間まで投与することができる。

さらに、再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、1 回 10mg を 1 日 1 回経口投与するが、効果不十分の場合は、1 回 20mg を 1 日 1 回経口投与することがで

きる。

〈低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制〉

通常、成人にはボノプラザンとして1回10mgを1日1回経口投与する。

〈非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制〉

通常、成人にはボノプラザンとして1回10mgを1日1回経口投与する。

〈ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助〉

通常、成人にはボノプラザンとして1回20mg、アモキシシリン水和物として1回750mg（力価）及びクラリスロマイシンとして1回200mg（力価）の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、1回400mg（力価）1日2回を上限とする。

プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの3剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはボノプラザンとして1回20mg、アモキシシリン水和物として1回750mg（力価）及びメトロニダゾールとして1回250mgの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。

禁　忌　（次の患者には投与しないこと）

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. アタザナビル硫酸塩、リルピビリン塩酸塩を投与中の患者

重大な副作用　〈効能共通〉

1. ショック、アナフィラキシー（いずれも頻度不明）
2. 汎血球減少、無顆粒球症、白血球減少、血小板減少（いずれも頻度不明）
3. 肝機能障害（頻度不明）
4. 中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、多形紅斑（いずれも頻度不明）

〈ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助〉

5. 偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎（頻度不明）

ヘリコバクター・ピロリの除菌に用いるアモキシシリン水和物、クラリスロマイシンでは、偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎があらわれることがあるので、腹痛、頻回の下痢があらわれた場合には直ちに投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

ドライアイ治療剤（ムチン産生促進剤）

レバミピド懸濁性点眼液２％「参天」

Rebamipide ophthalmic suspension 2%「Santen」
（参天製薬）

薬価収載日	2023年6月16日
薬　　価	460.5円/本

一　般　名　　レバミピド点眼液

効能・効果　　ドライアイ

＜効能・効果に関連する使用上の注意＞

涙液異常に伴う角結膜上皮障害が認められ、ドライアイと診断された患者に使用すること。

用法・用量　　通常、１回１滴、１日４回点眼する。

禁　忌　　（次の患者には投与しないこと）

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

重大な副作用　　涙道閉塞、涙嚢炎

（いずれも頻度不明）

涙道閉塞、涙嚢炎があらわれることがあるので、眼科検査を実施するなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。なお、涙道閉塞、涙嚢炎が認められた症例では涙道内に白色物質が認められることがある。

２．採用取り消し医薬品

(1) タケキャブ錠 10mg、20mg

［タケキャブ OD 錠 10mg、20mg 採用に伴い］

３．限定採用薬に関する医薬品情報の提供

10 月新規の限定採用薬基本情報

１）＜エクロックゲル 5%　〈ツイストボトル〉＞

1	一般名	ソフピロニウム臭化物
2	薬効分類名	原発性腋窩多汗症治療剤
3	適応症	原発性腋窩多汗症
4	用法・用量	1 日 1 回、適量を腋窩に塗布する。
5	禁忌	（次の患者には投与しないこと） 1. 閉塞隅角緑内障の患者 2. 前立腺肥大による排尿障害がある患者 3. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
7	使用部署(診療科)	院外（皮膚科）
8	製薬会社	科研製薬
9	薬価	242.6 円/g　9704 円/本

２）＜ダルビアス点滴静注用 135mg＞

1	一般名	ダリナパルシン
2	薬効分類名	抗悪性腫瘍剤/有機ヒ素製剤
3	適応症	再発又は難治性の末梢性 T 細胞リンパ腫
4	用法・用量	通常、成人にはダリナパルシンとして 1 日 1 回 300mg/m2（体表面積）を 1 時間かけて 5 日間点滴静注した後、16 日間休薬する。この 21 日間を 1 サイクルとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
5	禁忌	（次の患者には投与しないこと） 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 妊婦又は妊娠している可能性のある女性
6	重大な副作用	骨髄抑制、感染症、精神障害、中枢神経障害、QT 間隔延長
7	使用部署(診療科)	院内（内科）
8	製薬会社	日本化薬
9	薬価	31,692.00 円

3）＜バリキサドライシロップ 5000mg＞

1	一般名	バルガンシクロビル塩酸塩製剤
2	薬効分類名	抗サイトメガロウイルス化学療法剤
3	適応症	◦下記におけるサイトメガロウイルス感染症 後天性免疫不全症候群 臓器移植（造血幹細胞移植も含む） 悪性腫瘍 ◦臓器移植（造血幹細胞移植を除く）におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制 ◦症候性先天性サイトメガロウイルス感染症
4	用法・用量	〈サイトメガロウイルス感染症〉 初期治療 通常、成人にはバルガンシクロビルとして 1 回 900mg を 1 日 2 回、食後に経口投与する。 維持治療 通常、成人にはバルガンシクロビルとして 1 回 900mg を 1 日 1 回、食後に経口投与する。 〈臓器移植（造血幹細胞移植を除く）におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制〉 通常、成人にはバルガンシクロビルとして 1 回 900mg を 1 日 1 回、食後に経口投与する。 通常、小児にはバルガンシクロビルとして次式により算出した投与量を 1 日 1 回、食後に経口投与する。ただし、1 日用量として 900mg を超えないこと。推定糸球体ろ過量が 150 より高値の場合は 150 を用いること。 投与量（mg） =7×体表面積（m2）×推定糸球体ろ過量（mL/min/1.73m2） 〈症候性先天性サイトメガロウイルス感染症〉 通常、新生児及び乳児にはバルガンシクロビルとして 1 回 16mg/kg を 1 日 2 回、経口投与する。
5	禁忌	（次の患者には投与しないこと） 1. 好中球数 500/mm3 未満又は血小板数 25,000/mm3 未満等、著しい骨髄抑制が認められる患者 2. バルガンシクロビル、ガンシクロビル又は本剤の成分、バルガンシクロビル、ガンシクロビルと化学構造が類似する化合物（アシクロビル、バラシクロビル等）に対する過敏症の既往歴のある患者 3. 妊婦又は妊娠している可能性のある女性
6	重大な副作用	白血球減少、骨髄抑制、汎血球減少、再生不良性貧血、好中球減少、貧血、血小板減少、血小板減少に伴う重篤な出血（消化管出血を含む）、腎不全、膵炎、深在性血栓性静脈炎、痙攣、精神病

		性障害、幻覚、錯乱、激越、昏睡、敗血症等の骨髄障害及び免疫系障害に関連する感染症
7	使用部署(診療科)	院内院外（内科）
8	製薬会社	田辺三菱
9	薬価	486.50円/50mg　　48650.00円/本

4）＜ポートラーザ点滴静注液800mg＞

1	一般名	ネシツムマブ（遺伝子組換え）注射液
2	薬効分類名	抗悪性腫瘍剤 ヒト型抗EGFRモノクローナル抗体
3	適応症	切除不能な進行・再発の扁平上皮非小細胞肺癌
4	用法・用量	ゲムシタビン及びシスプラチンとの併用において、通常、成人にはネシツムマブ（遺伝子組換え）として1回800mgをおよそ60分かけて点滴静注し、週1回投与を2週連続し、3週目は休薬する。これを1コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
5	禁忌	（次の患者には投与しないこと） 本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往症のある患者
6	重大な副作用	動脈血栓塞栓症、静脈血栓塞栓症、Infusion reaction、低マグネシウム血症、間質性肺疾患、重度の皮膚障害、発熱性好中球減少症、重度の下痢、出血
7	使用部署(診療科)	院内（内科）
8	製薬会社	日本化薬
9	薬価	231,176.00円

５）＜ローブレナ錠 25mg/100mg＞

1	一般名	ロルラチニブ
2	薬効分類名	抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤
3	適応症	ALK 融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
4	用法・用量	通常、成人にはロルラチニブとして 1 日 1 回 100mg を経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
5	禁忌	（次の患者には投与しないこと） 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. リファンピシンを投与中の患者
6	重大な副作用	間質性肺疾患、QT 間隔延長、中枢神経系障害、精神障害、膵炎、肝機能障害
7	使用部署(診療科)	院内院外（内科）
8	製薬会社	ファイザー
9	薬価	25mg：7,350.00 円　100ｍｇ：26,441.80 円

４．採用医薬品の見直し (2023 年度)

採用医薬品の見直しの結果、

下記 38 品目が採用取消となりました。

薬効分類	番号	医薬品名
A．神経系用剤	1	アキネトン注射液 5mg
	2	カルボカインアンプル注 2%
	3	セパゾン錠 1
	4	トリプタノール錠 25
	5	プロカニン注 1%
	6	ワゴスチグミン注 0.5mg
C．呼吸器官用薬	7	アドエア 100 ディスカス
D．消化器官用薬	8	ハーボニー配合錠
E．解熱･鎮痛･抗炎症薬	9	セルタッチ【院外のみ】
	10	リマチル錠 100mg
F．　抗アレルギー薬	11	アレジオンドライシロップ
G．ホルモン	12	ナサニール点鼻【院外のみ】
	13	ゾラデックス 1.8 mgデポ
J．血液血管作用薬	14	サージセル綿型
	15	サージセルニューニット 2.5cm×8.9cm
	16	サージセルニューニット 15.2cm×22.9cm
	17	フラグミン静注
K．代謝性医薬品	18	アピドラ注ソロスター
	19	デスフェラール注
M．抗悪性腫瘍薬	20	マイトマイシン注用 10mg
N．感染症治療薬	21	オラビ錠口腔用 50mg
	22	パシル点滴静注液 500mg
P．耳鼻・口腔用薬	23	サラジェン錠 5 mg【院外のみ】
	24	ストミンＡ錠【院外のみ】
	25	エリザス点鼻液【院外のみ】
R．皮膚科用薬	26	アセサイド６％消毒液
	27	ｲｵｳ・ｻﾘﾁﾙ酸・ﾁｱﾝﾄｰﾙ軟膏
	28	ザーネ軟膏【院外のみ】
	29	0.025W／V％ヂアミトール水　5L
	30	ドレニゾンテープ

S．診断薬	31 32 33 34	イソビスト 240 オムニパーク 300　100mL コロンフォート液 レボビスト
T．生物学的製剤	35 36	乾燥弱毒生風疹ワクチン 献血ヴェノグロブリン IH　20ｇ
U．麻薬	37	アルチバ静注用 2mg
V.その他	38	コンバントリン 10%ドライシロップ

下記 14 品目が院外採用のみとなりました。

薬効分類	番号	医薬品名
A．神経系用剤	1 2 3	フェノバール錠 30mg ベンザリン錠 2 マイテラーゼ錠 10mg
B．循環器官用薬	4	ジルチアゼム塩酸塩錠 30mg
C．呼吸器官用薬	5	プランルカストカプセル 112.5mg
D．消化器官用薬	6	ペンタサ注腸 1g
F．　抗アレルギー薬	－	（プランルカストカプセル 112.5mg）
H．ビタミン	7 8	ビタミンＢ６散１０％ ニコチン酸アミド散 10%
L．漢方製剤	9 10	加味逍遙散 小青竜湯
N．感染症治療薬	11	ルリッド錠 150
O．眼科用薬	12 13	トラバタンズ点眼液 リザベン点眼液 0.5%
P．耳鼻・口腔用薬	14	イソバイド液　20mL

「メプチンキッドエアー5μg 吸入」　→　「メプチンエアー10μg 吸入」
へ切り替えとなりました。

５．医薬品添付文書の改訂 （ＤＳＵ No.321 より）

★：警告、◎：投与禁忌、併用禁忌、○：重要な基本的注意、重大な副作用

１）アセトアミノフェン「JG」原末（日本ジェネリック）、アセリオ静注液 1000mg バッグ（テルモ）、カロナール錠、カロナールシロップ 2%（あゆみ製薬）

◎：投与禁忌（削除）

消化性潰瘍のある患者［症状が悪化するおそれがある。］

重篤な血液の異常のある患者［重篤な転帰をとるおそれがある。］

重篤な腎障害のある患者重篤な心機能不全のある患者［循環系のバランスが損なわれ、心不全が増悪するおそれがある。］

アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者［アスピリン喘息の発症にプロスタグランジン合成阻害作用が関与していると考えられる。］

２）アセトアミノフェン坐剤小児用「JG」（日本ジェネリック）

◎：投与禁忌（削除）

重篤な血液の異常のある患者［重篤な転帰をとるおそれがある。］

重篤な腎機能障害のある患者重篤な心機能不全のある患者［循環系のバランスが損なわれ、心不全が増悪するおそれがある。］

アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者［アスピリン喘息の発症にプロスタグランジン合成阻害作用が関与していると考えられる。］

３）トアラセット配合錠「トーワ」（東和薬品）

◎：投与禁忌（削除）

〈効能共通〉

消化性潰瘍のある患者［症状が悪化するおそれがある。］

重篤な血液の異常のある患者［重篤な転帰をとるおそれがある。］

重篤な腎障害のある患者［重篤な転帰をとるおそれがある。］

重篤な心機能不全のある患者［循環系のバランスが損なわれ、心不全が増悪するおそれがある。］

◎：投与禁忌（一部改訂）

〈抜歯後の疼痛〉

アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者［アスピリン喘息の発症にプロスタグランジン合成阻害作用が関与していると考えられる。］

４）グランシリンジ 150、グラン注射液 M300（協和キリン）

○：重要な基本的注意（追記）

〈がん化学療法による好中球減少症〉

海外観察研究において、がん化学療法（単独又は放射線療法との併用）とともにペグフィルグラスチム（遺伝子組換え）又はフィルグラスチム（遺伝子組換え）が使用された乳癌又は肺癌患者では骨髄異形成症候群又は急性骨髄性白血病のリスクが増加したとの報告がある。本剤と骨髄異形成症候群又は急性骨髄性白血病の因果関係は明らかではないが、本剤の投与後は患者の状態を十分に観察すること。

５）フィルグラスチムBS注75μｇシリンジ「F」（富士製薬工業）
○：重要な基本的注意（追記）
〈がん化学療法による好中球減少症〉
海外観察研究において、がん化学療法（単独又は放射線療法との併用）とともにペグフィルグラスチム（遺伝子組換え）又はフィルグラスチム（遺伝子組換え）が使用された乳癌又は肺癌患者では骨髄異形成症候群又は急性骨髄性白血病のリスクが増加したとの報告がある。本剤と骨髄異形成症候群又は急性骨髄性白血病の因果関係は明らかではないが、本剤の投与後は患者の状態を十分に観察すること。

６）ジーラスタ皮下注3.6mg、ジーラスタ皮下注3.6mgボディーポッド（協和キリン）
○：重要な基本的注意（追記）
〈がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制〉
海外観察研究において、がん化学療法（単独又は放射線療法との併用）とともにペグフィルグラスチム（遺伝子組換え）又はフィルグラスチム（遺伝子組換え）が使用された乳癌又は肺癌患者では骨髄異形成症候群又は急性骨髄性白血病のリスクが増加したとの報告がある。本剤と骨髄異形成症候群又は急性骨髄性白血病の因果関係は明らかではないが、本剤の投与後は患者の状態を十分に観察すること。

７）ジアゾキシドカプセル25mg「OP」（オーファンパシフィック）
○重大な副作用（一部改訂）
重篤な体液貯留、うっ血性心不全、心嚢液貯留：
重篤なナトリウム貯留、体液貯留、うっ血性心不全及び心嚢液貯留があらわれることがある。異常が認められた場合には投与を中止し、利尿剤を投与するなど、適切な処置を行うこと。
○重大な副作用（追記）
壊死性腸炎：
新生児で壊死性腸炎があらわれることがある。嘔吐、腹部膨満、下痢、血便等の症状があらわれた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

８）アーリーダ錠60mg（ヤンセンファーマ）
○：重要な基本的注意（一部改訂）
重度の皮膚障害及び薬剤性過敏症症候群があらわれることがあるので、皮疹発現時には早期に皮膚科医に相談し、本剤の休薬又は投与中止を考慮すること。また、皮膚の異常が認められた場合には、速やかに医療機関を受診するよう、患者に指導すること。
○：重大な副作用（追記）
薬剤性過敏症症候群：
初期症状として発疹、発熱がみられ、更に肝機能障害、リンパ節腫脹、白血球増加、好酸球増多、異型リンパ球出現等を伴う遅発性の重篤な過敏症状があらわれることがある。なお、ヒトヘルペスウイルス 6（HHV-6）等のウイルスの再活性化を伴うことが多く、投与中止後も発疹、発熱、肝機能障害等の症状が再燃あるいは遷延化することがあるので注意すること。

９）ヤーボイ点滴静注液50mg（ブリストル・マイヤーズ スクイブ）
○：重要な副作用（一部改訂）
脳炎、髄膜炎

６．医薬品・医療機器等安全性情報

オーダリング端末の病院情報システムにログイン後、「医薬品情報」内のフォルダ「安全性情報」に格納していますので、ご覧下さい。医薬品・医療機器等安全性情報　(No.405　2023 年 11 月)

医薬品・医療機器等安全性情報

Pharmaceuticals and Medical Devices Safety Information

No. 405

目次

１．医薬品副作用被害救済制度の概要と制度への協力のお願いについて …… 3

２．アセトアミノフェンを含有する製剤（医療用）の「使用上の注意」の改訂について …… 17

３．重要な副作用等に関する情報 …… 20

1 アパルタミド …… 20

2 テトロホスミンテクネチウム（^{99m}Tc） …… 25

４．使用上の注意の改訂について（その345）

フィルグラスチム（遺伝子組換え）　他14件 …… 27

５．市販直後調査の対象品目一覧 …… 35

この医薬品・医療機器等安全性情報は，厚生労働省において収集された副作用等の情報を基に，医薬品・医療機器等のより安全な使用に役立てていただくために，医療関係者に対して情報提供されるものです。医薬品・医療機器等安全性情報は，独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ(https://www.pmda.go.jp/)又は厚生労働省ホームページ(https://www.mhlw.go.jp/)からも入手可能です。

配信一覧はコチラ

PMDAメディナビでどこよりも早く安全性情報を入手できます。

厚生労働省、PMDAからの安全性に関する必須情報をメールで配信しています。登録いただくと、本情報も発表当日に入手可能です。

登録はコチラ

令和５年（2023年）11月

厚生労働省医薬局

◉連絡先

〒100-8916　東京都千代田区霞が関１-２-２

厚生労働省医薬局医薬安全対策課

☎ 03-3595-2435（直通）

03-5253-1111（内線）2752，2667

（Fax）03-3508-4364

７．使用期限間近の医薬品リスト

（2023 年 11 月現在）

年	月	医薬品名	個数	薬価	在庫金額	年間使用量
5	12	アピドラ注ソロスター	1	1,648	1,648	8
		アラセナーＡ点滴静注用３００ｍｇ	5	5,996	29,980	0
		塩化アンモニウム補正液５ｍＥｑ／ｍＬ	7	57	399	3
		ガベキサートメシル酸塩注射用 500mg「ﾀｶﾀ」	10	495	4,950	0
		セフジニル細粒小児用１０％「サワイ」	0.4	4,600	1,840	1.1
		テオフィリン徐放ﾄﾞﾗｲｼﾛｯﾌﾟ小児用 20%「ｻﾜｲ」	1.1	3,340	3,674	0.2
		テレミンソフト坐薬２ｍｇ	22	19.7	433	37
		ナディック錠３０ｍｇ	48	45.2	2,170	46.5
		ネオフィリン注２５０ｍｇ	6	94	564	40
		ノックビン原末	0.5	1,542.5	771	0
		フェノバール注射液１００ｍｇ	12	71	852	145
		マイスタン錠１０ｍｇ	14	29.9	419	147
		ミニリンメルトＯＤ錠１２０μｇ	27	147.2	3,974	31
		ラミクタール錠小児用２ｍｇ	113	6.7	757	0
6	1	アトロベントエロゾル２０μｇ	1	673.3	673	11
		ＬＨ－ＲＨ注射液タナベ	5	3,512	17,560	4
		ツムラ清肺湯エキス顆粒（医療用）	14	34.2	479	0
		セルシン散１％	0.1	1,170	117	0.9
		タンボコール細粒１０％	0.1	6,405	641	0.5
		デファイテリオ静注２００ｍｇ	9	54,091	486,819	24
		フェノール・亜鉛華リニメント＜ハチ＞	0.7	770	539	0.2
		プラノバール配合錠	99	13.8	1,366	0
		リンデロン坐剤１．０ｍｇ	27	68.9	1,860	0
		ロンゲス錠１０ｍｇ	75	23.3	1,748	197
	2	アキネトン注射液５ｍｇ	25	59	1,475	30
		アレビアチン錠１００ｍｇ	85	12.9	1,097	65
		サイレース静注２ｍｇ	10	140	1,400	0
		ジピリダモール散１２．５％	0.7	1,910	1,337	0.1
		ジアゾキシドカプセル２５ｍｇ「ＯＰ」	36	261.6	9,418	0
		ダラザレックス点滴静注１００ｍｇ	2	52,262	104,524	31
		ダラザレックス点滴静注４００ｍｇ	2	187,970	375,940	22
		ヒューマログミックス５０注ミリオペン	1	1,366	1,366	3
		ピラマイド原末	0.4	2,890	1,156	0.6

		プラザキサカプセル７５ｍｇ	22	134.5	2,959	44
		ヘパンＥＤ配合内用剤	40	452.8	18,112	264
		硫酸ストレプトマイシン注射用１ｇ「明治」	10	396	3,960	0

処方可能な薬剤がございましたらご協力お願いいたします

８．医薬品情報　高リン血症治療薬について

慢性腎不全患者では、腎機能の低下により体内にリンが蓄積し高リン血症が起こりやすくなります。高リン血症は、副甲状腺ホルモンの分泌を促進し二次性副甲状腺機能亢進症やこれに伴う骨代謝異常の原因となり、血管や関節などの石灰化により動脈硬化や関節痛のリスク上昇にも関与しています。リンの目標値は3.5～6.0mg/dLで、通常高リン血症では食事制限でコントロールし、それでも高リン血症を認める場合にリン吸着薬を使用します。高リン血症治療薬は、全て食物中、特にタンパク質に含まれるリンの吸収を消化管内で抑える作用のため、飲み方は「食直前」か「食直後」の縛りがあります。現在、高リン血症治療薬はカルシウム(Ca)含有製剤、Ca非含有製剤があり、さらにCa非含有製剤は金属タイプとポリマータイプに分類されています。
当院採用の高リン血症治療薬について、以下にまとめましたのでご参照ください。

表1　当院採用の高リン血症治療薬一覧

分類	Ca含有製剤	Ca非含有製剤		
		金属タイプ		ポリマータイプ
薬品名	沈降炭酸カルシウム錠 500 mg「三和」	リオナ®錠250 mg	ホスレノール®顆粒分包250 mg	レナジェル®錠250 mg［限定採用］
一般名	沈降炭酸カルシウム	クエン酸第二水和鉄	炭酸ランタン水和物	セベラマー塩酸塩
飲み方	食直後	食直後	食直後	食直前
副作用	便秘(0.1～5%) アルカローシス等の電解質失調、高Ca血症、腎結石	下痢(12.4%)、悪心、便秘(2%以上)、腹痛、血清フェリチン増加、Hb増加(2%未満)など	腸閉塞、イレウス、消化管出血潰瘍(頻度不明)悪心・嘔吐、便秘(5%以上)腹痛、下痢（1～5%)など	便秘(25%)、腹部膨満(9.6%)、腹痛(3.4%)、腸管穿孔(0.1%)、腸閉塞(0.2%)など
禁忌	本剤に対し過敏症の既往歴のある患者、 甲状腺機能低下症の患者	本剤に対し過敏症の既往歴のある患者	本剤に対し過敏症の既往歴のある患者	本剤に対し過敏症の既往歴のある患者、 腸閉塞の患者
特徴	リン吸着効果は胃酸分泌抑制薬によって低下する。 Ca過剰負荷での血管石灰化の観点から、定期的に血中Ca濃度の測定を行うこと。 投与が長期にわたる場合、血中マグネシウム濃度を測定すること。	鉄が一部吸収されるため、血清フェリチン値を定期的に測定し、鉄過剰に注意すること。 便が黒色を呈することがある。 鉄欠乏性貧血にも適応がある。	リン吸着能に優れる。 消化管粘膜へのランタン沈着症も報告されている。 吐き気、嘔吐などの消化器症状があり。	塩酸を含む製剤のためアシドーシスにより注意が必要となる。 胆汁酸と結合することで血清LDL値を低下させるとの報告もある。 腸閉塞が現れることがあるので排便状況の確認をすること。

【参考文献】各医薬品の添付文書、およびインタビューフォーム、慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代謝異常の診療ガイドライン(2012)

本件の問い合わせ:薬剤部・調剤室(内線2720)